

桜 守

(広報誌第 16 号 令和 2 年)

公益財団法人 吉野山 保勝会

新会長就任ご挨拶 (公益財団法人) 吉野山保勝会 新会長 中井章太



令和 2 年、北岡前会長から公益財団法人吉野山保勝会会長を引き継ぎました吉野町長の中井章太でございます。浅学菲才の身にもかかわらず、長い歴史と伝統を誇る(公財)吉野山保勝会の会長職という重責を担わせていただくこととなりました。今は、粉骨砕身してその責務を果たすべきと決意を新たにしております。申し上げるまでもなく、吉野山保勝会の活動は、会長一人では到底成しえない広範な内容を包摂し、その意義は我が国の文化の一翼を担うべき崇高な理念を持っていると拝察しております。今後の活動におきましても会員諸賢の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。吉野山の桜樹林は、千年の長きにわたり吉野山の皆様方をはじめとして、吉野山の桜を愛護・崇敬する人々によって護持されてまいりました。今後は、その活動の一翼を担う(公財)吉野山保勝会の代表といたしまして、その歩みを留めることなく続けることで、吉野山の桜樹林を未来に伝える一助となれればと考えております。桜樹林は、生き物であり決して人の意のままにならないものだと思います。だからこそ、桜と向き合い、その性質を見極めるために、実証的な実験を積み重ね桜を護る方策を策定することが何より大切な事業であると痛感しております。最後になりましたが、私は、会員諸賢は言うまでもなく、吉野山の桜樹林を愛して下さる皆様、諸団体の方々と手を携え、共に歩を進めてまいりたいと考えております。広く皆様のご支援をお願い申し上げまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

会長退任ご挨拶 (公益財団法人) 吉野山保勝会 前会長 北岡篤



平成 8 年町長就任に伴い会長に就任し、12 年間、無事に努めることができました。皆さんと共に、桜の保全の活動を大きな流れとして確立できたように思っています。桜の危機を訴え、NHK の取材、京都大学の研究、「吉野の桜を守る会」、大和ハウスの支援など、たくさんの方々から協力を頂きました。一方で、公益財団法人化、100 周年事業、白雲荘の整備活用なども進めて頂き、また役場より出向者を迎え、事務局の強化もできました。会長職を務め終わり、今、日本人の心の象徴である「吉野の桜」を守っていくことが、日本人の心を守っていくことだと強く感じています。吉野山保勝会の皆さんの益々のご活躍・ご発展を祈念して、退任の挨拶とさせていただきます。

新理事長就任ご挨拶 (公益財団法人) 吉野山保勝会 新理事長 車田修平



公益財団法人吉野山保勝会に対しましてご支援ご協力をいただき有難うございます。

前福井理事長・元藤井理事長時代に専務理事として(公財)吉野山保勝会に関わり本年 6 月の評議員会におきまして理事に選任され、その後の理事会におきまして理事長という重職の指名を受け、受諾させていただきました。大正 5 年に財団法人として設立され 100 年以上の歴史の中で平成 5 年に理事に就任以来 27 年にわたり理事を務めさせていただいております。今後関係各位のご支援をいただきながら、理事長職を全うしたいと願っております。さて、その時代時代に色々な問題が起こり、一つ一つ解決して現在の(公財)吉野山保勝会が存在しております。地元自治会員・観光業者の方々からの寄附金、吉野町や企業・各種団体様からのご支援をいただき、桜の管理・植樹・施肥・下草刈り・病害虫(ナラタケ菌・ヤドリギ・てんぐ巣病等)の駆除作業を行っております。今年は新型コロナウイルス禍により、日本中が大変な状況になっており、来年度の予算にもかなりの影響があると思われませんが、我々(公財)吉野山保勝会の理事の頑張りどころではないかと考えております。桜を守り育てることはもちろんですが、これからの(公財)吉野山保勝会を継承してくれる人材を育てていく為には『人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり』武田信玄公の言葉のように個々を信頼し、才能を十分に発揮できる組織を作ることが私にとって大切な務めだと思っております。これからも(公財)吉野山保勝会の活動に対しまして倍旧のご理解・ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

“緑の都市賞” に大和ハウス工業と保勝会の活動が評価され「国土交通大臣賞」を受章いたしました。



(大阪の丸ビルにおいて令和 2 年 2 月 7 日に大和ハウス様と合同での祝賀会。)



(大和ハウス社員様によるボランティア活動の様子)

株式会社グラセル様による植樹が行われました。



令和2年3月3日株式会社グラセル様より
ご寄附を頂き 10本の植樹が行われました。(子守)

2020年4月、総合エンジニアリング業「アイテック株式会社」
(大阪市北区) 前田幸治会長様より500万円のご寄附を
頂きました。「私の原風景は吉野山の桜。世界中がコロナ禍に
脅かされるなか、私は吉野山の満開の桜にどれだけ心が癒され
たか。この美しさを絶やすことなく後世に受け継いでいかなばな
らない。少しでもお力になれば」と語られました。

強い苗を育てる試験を実施しています (日乃雄育成園)



令和元年2月種まき苗1年生



令和2年2月



令和2年2月種まき苗(現在)

強い苗を育てる方法として日乃雄育成園にて、苗ポットへ植え替え・プランターによる種撒きを試験的に実施しました。

また、定期的にミストによる散水をすることで成長も良好です

みつばつつじを10本植樹しました



花山入り口付近に、みつばつつじを10本植樹しました。

5月頃薄紫の花を咲かせました。

今後様子を見ながら桜と共存できる低木を増やしていきます。

桜基金に寄付を頂いた方々 (順不同) 皆さんありがとうございました

大和ハウス工業(株)様・(株)グラセル様・俳人協会関西支部様・日本伝統俳句協会関西支部様・関西現代俳句協会様・プラハード(株)様・
金峯山寺様・ソロプチミスト奈良—あすか様・ハートツリー様・近畿大学附属小学校様・(株)大阪マルビル様・中嶋實男様・大和リース(株)様・
大和リゾート(株)様・宝の家様・ソロプチミスト奈良—万葉様・柿の葉寿司ヤマト様・吉野ビクターズビューロー様・吉野山旅館組合様・
石留石材店様・竹林院群芳園様

◇◇◇ 賛助会会員募集中 ◇◇◇

公益財団法人 吉野山保勝会 〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430
TEL:0746-32-1877 FAX:0746-32-1217 E-mail hoshoukai@cap.ocn.ne.jp
URL: <http://www.hoshoukai.yoshino.jp>